



11月給食だより

実りの秋 食べ物を大切にいきましょう

校庭の木々が色づき、日に日に秋が深まってきたことを感じます。昔から日本人にとって重要な穀物であるお米をはじめ、大豆やそば、里いもなど、さまざまな作物が収穫時期を迎えていています。各地で収穫を祝うお祭りが開催され、11月23日には「新嘗祭」という伝統的な宮中行事が行われます。この日は「勤労感謝の日」として国民の祝日になっていますが、食べることは、たくさんの人の勤労に支えられていることを忘れずに、日々の食事を大切にいきましょう。



日本の食文化を大切にするために、心がけたいこと

食器を正しく並べましょう



「いただきます」「ごちそうさま」を心を込めて言いましょう



お箸を正しく使いましょう



地域に伝わる郷土料理や行事食を味わってみましょう



☆勤労留学☆

10月7日（火）から3日間、2年生が勤労留学として給食室の厨房に入って、職場体験を行いました。お皿を数える、パンを丸める、じやがいも団子を丸める、釜をかき混ぜる、出来上がった物を温度計で測る、餃子を包む、配缶する、午後の食器を洗うなどをしました。

毎日違ったいろいろなメニューを作って、頂いていることの大変さを改めて知り、貴重な体験ができたと思います。

生徒だけでなく、調理員さん、私たち栄養士も成長できた3日間になりました。

3日間、本当に疲れ様でした！



令和7年10月28日

荒川区立原中学校

校長 村松 弘一

栄養士 石井 康子

城野 史奈